

各都道府県介護保険担当課（室）
各保険者介護保険担当課（室） 御中
各介護保険関係団体

← 厚生労働省 老健局高齢者支援課

介護保険最新情報

今回の内容

「居宅介護支援事業所と、介護サービス提供事業所や
医療機関等との間におけるデータ連携のための標準
仕様について」等のホームページへの掲載について
計5枚（本紙を除く）

Vol.1095

令和4年8月30日

厚生労働省老健局高齢者支援課

【 貴関係諸団体に速やかに送信いただきますよ
う、よろしくお願いいたします。】

連絡先 TEL：03-5253-1111(内線 3876)
FAX：03-3595-3670

事務連絡
令和4年8月30日

都道府県
各 介護保険主管課（室） 御中
市区町村

厚生労働省老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室

「居宅介護支援事業所と、介護サービス提供事業所や医療機関等との間におけるデータ連携のための標準仕様について」等のホームページへの掲載について

介護保険行政の円滑な実施につきましては、日頃から御尽力賜り厚く御礼申し上げます。介護現場の負担軽減は喫緊の課題であり、介護分野における業務効率化を図るために、ICTを活用した情報連携の取組を推進することが重要です。

先般、「「居宅介護支援事業所と、介護サービス提供事業所や医療機関等との間におけるデータ連携のための標準仕様について」（令和4年8月12日 老高発0812第1号 老認発0812第1号 老老発0812第1号）」において、データ連携に必要な標準仕様について、お示ししたところです。

今般、厚生労働省ホームページにおいても、上記の標準仕様等をそれぞれ掲載いたしました。

つきましては、管内関係団体、介護サービス事業所等に周知いただくとともに、貴自治体による介護事業所支援にご活用ください。

掲載場所 <https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-ict.html>

【担当】

厚生労働省老健局高齢者支援課

介護業務効率化・生産性向上推進室 秋山、石内、小河

TEL：03-5253-1111(内線3876)

標準仕様の作成

調査研究の結果を踏まえ、以下のデータ連携のための標準仕様を作成

ケアプラン (1、2、6、7表)

入院時・退院時情報

訪問看護等情報

第1表データ項目標準化案

No.	日本語名称	書式、選択肢など
1	保険者番号	要介護者が属する自治体のコード
2	被保険者番号	被保険者番号
3	居宅サービス計画作成年月日	YYYYMMDD
4	利用者氏名	フリーテキスト
5	利用者生年月日	YYYYMMDD
6	利用者郵便番号	XXX-XXXX
7	利用者住所1	フリーテキスト
8	利用者住所2	フリーテキスト
9	居宅サービス計画作成者氏名	フリーテキスト
...
25	総合的な援助の方針	フリーテキスト
26	生活援助中心型の算定理由	1. 一人暮らし 2. 家族等が障害、疾病等
27	その他理由	フリーテキスト

項目	大分類	小分類	項目名	必須	任意	備考	コード化	桁数	コード値	選択肢
共通	共通	1	子一対応No.	●	○	施設 (生活一対応標準化案)		14		
		2	保険者番号	●	○	1. 入居時情報提供済 2. A. 入居時情報提供済 3. 退院時情報提供済 4. A. 退院時情報提供済		2		
		3	介護計画番号 (介数)	●	○	介護計画番号		10		
		4	次期計画番号 (介数)	●	○	次期計画番号		5		
		5	住居計画番号 (介数)	●	○	住居計画番号		10		
		6	子一対入目 (入居時情報提供済)	●	○	YYYYMMDD (1. 入居時情報提供済)の子一対入目 2. 退院時情報提供済		8		
		7	住入日 (退院時情報提供済)	●	○	YYYYMMDD 3. 退院時情報提供済		8		
		8	介護計画ID	○	○	介護計画ID		60		
		9	ケアマネジャーID	○	○	介護計画ID		50		
		10	ケアマネジャーID	○	○	XXXXXXXX-XXXX		15		
		11	ケアマネジャーID	○	○	XXXXXXXX-XXXX		15		

項目	大分類	小分類	項目名	必須	任意	備考	コード化	桁数	コード値	選択肢
施設	施設	531	施設入居1回目施設IDの日付時刻		○	YYYYMMDDHHMM		12		
		532	施設入居2回目施設IDの日付時刻		○	YYYYMMDDHHMM		12		
		533	施設入居3回目施設IDの日付時刻		○	YYYYMMDDHHMM		12		
		534	施設入居4回目施設IDの日付時刻		○	YYYYMMDDHHMM		12		
		535	施設入居5回目施設IDの日付時刻		○	YYYYMMDDHHMM		12		
		536	施設入居6回目施設IDの日付時刻		○	YYYYMMDDHHMM		12		
		537	施設入居7回目施設IDの日付時刻		○	YYYYMMDDHHMM		12		
		538	施設入居8回目施設IDの日付時刻		○	YYYYMMDDHHMM		12		
		539	施設入居9回目施設IDの日付時刻		○	YYYYMMDDHHMM		12		

項目	分類	項目名	必須	任意	備考	コード化	桁数	コード値	選択肢	
共通	共通	1	子一対応No.	○	○	施設 (生活一対応標準化案)		14		
		2	保険者番号	○	○	1. 入居時情報提供済 2. A. 入居時情報提供済 3. 退院時情報提供済 4. A. 退院時情報提供済		2		
		3	介護計画番号 (介数)	○	○	介護計画番号		10		
		4	次期計画番号 (介数)	○	○	次期計画番号		5		
		5	住居計画番号 (介数)	○	○	住居計画番号		10		
		6	子一対入目	○	○	YYYYMMDD		8		
		7	住入日	○	○	YYYYMMDD		8		
		8	介護計画ID	○	○	介護計画ID		60		
		9	ケアマネジャーID	○	○	XXXXXXXX-XXXX		15		
		10	ケアマネジャーID	○	○	XXXXXXXX-XXXX		15		
		11	ケアマネジャーID	○	○	XXXXXXXX-XXXX		15		
		12	ケアマネジャーID	○	○	XXXXXXXX-XXXX		15		
		13	ケアマネジャーID	○	○	XXXXXXXX-XXXX		15		
		14	ケアマネジャーID	○	○	XXXXXXXX-XXXX		15		
		15	ケアマネジャーID	○	○	XXXXXXXX-XXXX		15		

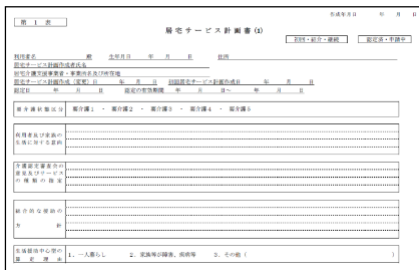
項目	分類	項目名	必須	任意	備考	コード化	桁数	コード値	選択肢	
施設	施設	533	施設入居後の入居 (2回目)		○	なし、あり	○	1	0	なし
		534	施設ID		○	できる、何かに変更可能、できない	○	1	1	なし
		535	移動		○	介数なし、一部介数、全介数	○	1	2	何かに変更可能
		536	口移り		○	介数なし、一部介数	○	1	1	介数なし
		537	食事回数		○	介数なし、一部介数、全介数	○	1	3	介数あり
		538	夜間の睡眠		○	介数なし、一部介数、全介数	○	1	1	介数なし
		539	設備・環境上の結果が異なる		○	いい、いい	○	1	2	介数あり
		540	施設ID		○	いい、悪い	○	1	0	なし
		541	施設ID		○	いい、悪い	○	1	1	なし
		542	施設ID		○	いい、悪い	○	1	2	介数あり

異なるベンダー同士であってもデータ連携が可能となった

ケアプラン標準仕様について

- 毎月、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所の間でやり取りされるケアプラン（予定・実績情報）について、異なるベンダーの介護ソフトであってもデータ連携を可能とするため、厚労省が示す様式をもとに、フォーマットやデータ形式等を規定した「標準仕様」を作成。
- 今後、「ケアプランデータ連携システム」等で活用

<イメージ図> (ケアプラン)

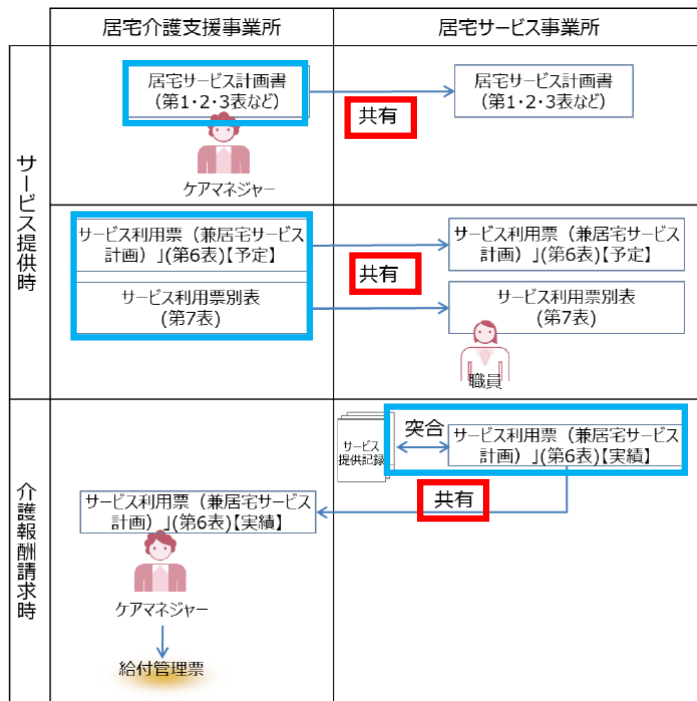


フォーマットの統一

第1表データ項目標準化案		
No.	日本語名称	書式、選択肢など
1	保険者番号	要介護者が属する自治体のコード
2	被保険者番号	被保険者番号
3	居宅サービス計画作成年月日	YYYYMMDD
4	利用者氏名	フリーテキスト
5	利用者生年月日	YYYYMMDD
6	利用者郵便番号	XXX-XXXX
7	利用者住所1	フリーテキスト
8	利用者住所2	フリーテキスト
9	居宅サービス計画作成者氏名	フリーテキスト
25	総合的な援助の方針	フリーテキスト
26	生活援助中心型の算定理由	1. 一人暮らし 2. 家族等が障害、疾病等 3. その他
27	その他理由	フリーテキスト

共通化

ケアプラン標準仕様の活用例



標準仕様の活用によりデータでやり取り

介護ソフトより、標準仕様に準じた形式で出力

ソフトごとにデータのフォーマットが異なり円滑な情報連携が行えないという課題

【期待できる効果】

- 書類の記入や転記誤りなど業務負担の削減
- 人件費、印刷費、通信費、交通費などの削減

【連携されるデータ】

- 利用者基本情報
- 居宅サービス計画（予定）・・・長期目標、短期目標、サービス事業所名、頻度、実施機関等
- サービス利用表（実績）・・・単位数、サービス利用日等

訪問看護計画等標準仕様について

- 訪問看護計画等について、日々のサービス提供内容について厚生労働省が様式例を示している。
- これらの様式による訪問看護ステーション、かかりつけ医、ケアマネジャーの情報連携について、電子的に行うことができる標準的なデータ項目の詳細について記載

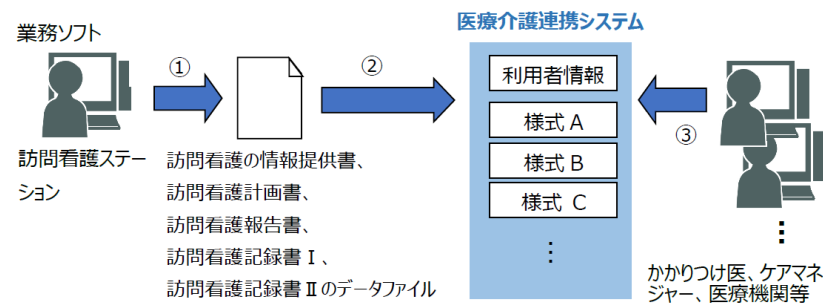
<イメージ図>

別紙様式1 訪問看護計画書

利用者氏名	生年月日	年	月	日	()歳
要介護認定の状況	要支援(1 2)	要介護(1 2 3 4 5)			
住所					
看護・リハビリテーションの目標					
年月日	問題点・解決策	評価			



項目種別	分類	項目番号	項目名	○：必須 ◇：任意	備考	コード化	桁数	コード値	連打数	
基本項目	共通ヘッダ	1	サービス提供の開始日時	○	時刻(標準時+2025年文換算)		14			
		2	サービス提供の終了日時	○	時刻(標準時+2025年文換算)		14			
		3	訪問看護士氏名	○	氏名(漢字)		10			
		4	訪問看護士職名	○	職名(漢字)		10			
		5	訪問看護士所属	○	所属(漢字)		10			
		6	訪問看護士住所	○	住所(漢字)		30			
		7	サービス提供場所	○	サービス提供場所(漢字)		30			
		8	サービス提供内容	○	サービス提供内容(漢字)		30			
		9	サービス提供回数	○	サービス提供回数(数字)		2			
		10	サービス提供回数	○	サービス提供回数(数字)		2			
		11	サービス提供回数	○	サービス提供回数(数字)		2			
		12	サービス提供回数	○	サービス提供回数(数字)		2			
		13	サービス提供回数	○	サービス提供回数(数字)		2			
		14	サービス提供回数	○	サービス提供回数(数字)		2			
		15	サービス提供回数	○	サービス提供回数(数字)		2			
		16	サービス提供回数	○	サービス提供回数(数字)		2			
		17	利用者性別	○	男/女		1	1	1	1
		18	訪問看護士性別	○	男/女		1	1	1	1
		19	訪問看護士所属	○	訪問看護士所属(漢字)		10			
		20	訪問看護士住所	○	訪問看護士住所(漢字)		30			
		21	訪問看護士住所	○	訪問看護士住所(漢字)		30			
その他項目	拡張ヘッダ	533	訪問看護士への入力(2日目)	なし、あり	○	1	0	なし		
		534	医師の	できる、できない	○	1	1	なし		
		535	音楽	介助なし、一部介助、全介助	○	1	1	介助なし		
		536	口唇指挿	介助なし、介助あり	○	1	1	介助なし		
		537	食事回数	介助なし、一部介助、全介助	○	1	2	介助なし		
		538	飲物の量	介助なし、一部介助、全介助	○	1	2	介助なし		
		539	排便(排便上の指示が与えられる)	なし、いいえ	○	1	1	いいえ		
		540	血圧測定	なし、あり	○	1	1	あり		
		541	「訪問看護計画(目標)」の計画実施への到達率(達成率)	自由記述(訪問看護計画書で目標の達成率や状況)			1000			
		542	「訪問看護計画(目標)」の計画実施への到達率(達成率)	自由記述(訪問看護計画書で目標の達成率や状況)			1000			
543	「訪問看護計画(目標)」の計画実施への到達率(達成率)	自由記述(訪問看護計画書で目標の達成率や状況)			1000					
544	「訪問看護計画(目標)」の計画実施への到達率(達成率)	自由記述(訪問看護計画書で目標の達成率や状況)			1000					



今後、多職種が情報共有する医療介護連携システムでの活用を期待

【連携されるデータ】

- 基本情報・・・保険者番号、利用者被保険者番号、要介護度等
- 訪問看護計画書・・・看護の目標、解決策、評価等
- 訪問看護報告書・・・保険種類、職種、訪問看護指示書、訪問日等
- 訪問看護記録書Ⅰ・・・看護師氏名、訪問職種、訪問年月日、開始時間、終了時間、傷病名、現病歴、既往歴、生活歴、ADL等
- 訪問看護記録書Ⅱ・・・看護師氏名、訪問職種、訪問年月日、開始時間、終了時間、心身機能、実施した看護等
- 訪問看護の情報提供書・・・主治医氏名、医療機関名、ADL、看護の内容、看護上の問題点等